

「愛は寛容であり、愛は親切です。また人をねたみません。愛は自慢せず、高慢になりません。礼儀に反することをせず、自分の利益を求めず、怒らず、人のした悪を思わず、不正を喜ばずに真理を喜びます。すべてをがまんし、すべてを信じ、すべてを期待し、すべてを耐え忍びます。」 I コリント 4 : 13~17

衆議院選挙が近づいてきました。私たちは「私たちを選んでください！」と立候補したわけではありませんが、一方的に世の光である神様から選ばれました。愛される価値なき私たちに目を留められ、私たちの欠点、弱さ、失敗全てを受け入れ赦し、最高の愛をもって愛して下さいました。この神の愛をもって人を愛しなさいと言われていました。(映画「地の塩 山室軍平」の予告編でも「一番大切なものは愛です。」) 愛の源である神様から愛を受けましょう。選ばれた候補者に非があれば社会的に制裁を受け候補から降ろされる場合もあります。私たちも「不正を喜ばずに」とあるように罪は悔い改めましょう。私たちは赦されているのですから私たちに罪を犯している人を赦しましょう！どんな大きな罪を犯している人であっても、私たちが神様に赦された罪とは比較にもならないのです。(マタイ 18 : 23~) 私たちの間でも父親母親に対して恨みを持っている人がいるようです。赦すことを告白して祈りましょう！「赦すことと愛」には非常に深い関係があります。赦す時に神様の愛は大きく私たちに注がれてきます。

テレビで「世界のプリンセス物語 愛される理由とは」と言う番組があり非常に興味深く観ました。伝統を重んじる王宮には不向き、汚点と思われる様々な難点があるにもかかわらず、高いハードルをその王妃たちはどの様にクリアーして国民から愛される王妃になったのか？麻薬使用歴、離婚歴のあるノールウエーの王妃は過去を洗いざらい語り、もう麻薬とは縁を切ると誓うことで国王国民に受け入れられました。父がアルゼンチンの圧制の反対者を虐殺した大統領の側近であったことでオランダ国民に嫌われていたマキシマ王妃は、父と祖国を捨ててオランダを愛しオランダの国民に愛されるようになりました。モナコの王妃は南アフリカ共和国で育ち、ネルソン・マンデラ大統領から「赦し」を学び、それを信条にしていると語っていました。赦し赦されて大きな愛にであった王妃には国民に対し、世界に対しても大きな役割が課されています。私たちはイエスの血によって全ての罪を赦され、人を赦し、罪を悔い改めることで神様の最高の愛と祝福を受けています。神様の愛に応えてゆきましょう！

TLCCC 主の十字架クリスチャンセンター The Lord's Cross Christian Center

FRH 天に登録されている長子たちの教会

Church of the Firstborn who are Registered in Heaven
主任牧師: イエス・キリスト ノア勝裕&和子



Siloam

2017年10月15日 No.967

(シロアム：遣わされた者 ヨハネ 9 : 7)

新年度の御言葉 「それと同じように、信仰も、

もし行いがなかったなら、それだけでは、死んだものです。」ヤコブ 2 : 17

♪ God is working for my good now , for my good , for my good ,

God is working for my good ,Yes,You really are! 🎵



<http://tlcccfrh.astone-blog.jp/>